



下田南地区敬老会

9月11日、下田南地区敬老会が開催されました。今年度お元気で参加された方は、男性12名女性26名の計38名様でした。

まずは、来賓の方々のご臨席のもと厳かに式典が執り行われました。

5年生になった石松理紗さん、今年は「舞妓はん」を披露。カラオケコーナーでは、白石明美さん白石謙二さん、中村昭広さん、中村敬司さんらが、自慢の『のど』を今年も歸かせてくれました。飛び入りの楠本県議、上野知生さんのコンビも絶妙で、さすがでした。さらに入口武皇さんの「男の子守唄」は、会場の中を歩きながら情感たっぷりに歌われ、感動しました。



そして昼食の後は、恒例の余興の部、なごやかなひとときを過ごすことができました。

下田南地区振興会だより 会報 小田床

■発行 第44号■
【発行責任者】
下田南地区振興会
会長 中村敬司
【連絡先】
下田南地区民生活けが
42-3612



今年度のメインは、スライドショー（私の昔）なつかしのアルバムをひもといて、しばし昔の私にタイムスリップしました。スライドショーのはじめには、下田南地区の起源にまでさかのぼって紹介してあり地域の歴史や概要がよくわかりました。たくさんの方のなつかしい写真を快く提供して頂き、ありがとうございます。ご協力くださいました。



写真の皆さんは今もお元気で、地域の中で活躍中の若松家の昔の1枚。
重雄さん、富代香さん、稲香さん、美代香さん



思い出の写真から

昭和十五年、南地区総合運動会の仮装行列オースターの写真であります。

写真① 様々な出し物で会場は驚きと爆笑の渦。時代を反映したともいえますが、ニクなもののほかりしように赤い富士の葉巻りと方々の油売り、チンドン屋、当時テレビで人気の月光仮面と盛りだくさん、中でも目を引いたのが米ソビ頭会談です。両国の冷戦状態が続いている中でそれをひっくりかえすべく、アメリカ、ソビエトの両首脳が並んで座っています。残念ながら握手のシーンは写っていませんが、両首脳は下田南小学校に於いて会談し握手を交わしたのであります。住民がそれを見届けました。

仲々のアイデア、活潑に演出されたものであります。



配役 アイゼンハワー大統領（桑原大輝）
フルシチョフ書記長（白石高則）月光仮面（伊野保幸）
チンドン屋（入口武雄）しょうけ売り（若松重雄）
天草町町長（白石謙一）その他（中村梓 他）
プラカード持ち、子供（白石應博、白石謙二、中村肇輝）



写真② バックの風景を見て頂くと、山椒岳の中腹まで、段々畑が連なっています。当時は人口に対し米の生産が少なくそれを補う為、芋、麦を作っていたのです。たて岩の手は本当においしかったです。平成の今、小学校跡地（写真と同じ場所）から眺むと、そこは雑木林になってしまっています。石垣の跡は見えませんが、石垣を積み上げて畑を作ったのは私達の先祖です。時代は変わっても先人たちの汗と努力があらた事を私達は忘れてはならないと思います。

未来へつなぐ



中村敬司さんのお孫さん
中村優心くんH28.6.27生



白石徳美さんのお孫さん
白石美和ちゃんH28.9.16生



白石謙二さんのお孫さん
三原風大くんH28.9.28生



中村敬司さんのお孫さん
林頼人くんH28.9.12生



尾崎知さんのお孫さん
神原佑音くんH28.8.15生



中村優さんのお孫さん
築野年人くんH28.8.30生

編集後記

温故知新、すべての人たちが過去、現在、未来の連鎖で生きています。過去から学び、今を生きその姿が未来の礎を築いているのです。人間がつくっている社会（地域）も当然その連鎖で成り立っています。

会報小田床も今を生きて、（現在、昔を語り、過去を、未来へつなぐ）（未来）ジャンルで紙面が狭くなっています。現在行われていることを的確にお知らせし、現在の礎となっている皆のエンジニアを掘り起こし、明るい未来を築くための羅針盤になればと思っています。

【西嶋隆明】

小田床情報板

11月
28日（土）～29日（日）
…産業文化祭

12月
12/1日（火）～1/6（水）
…イルミネーション装飾
13日（日）…中野山の神祭り

ありがとうございます
ふるさと応援寄附金
濱田 伸広 様
中村 敏彦 様
会報小田床送料代
中村 敏彦 様